

# 市民委員会で頂いた主なご意見

第4回市民委員会(平成30年12月17日)

- スピード感はあるが内容がついていってるのかなという気がする。
- 西の内、彦の内、中田、宮本の上宮本地区、青江地区の一部が港は遠くなるので反対という声もある。
- 財源はどうするのか？また、復興にあたっての今後の財源はどうするのか？
- もう少し庁内の意見をまとめて、皆で一つになって、市民の皆さんにも納得していただけるぐらいの準備をして、それからやっていくべきではないか。
- 一昨年8月の第3回委員会の際に、基本構想の中で、だいたい総額30億円ぐらいかかるという事も言われていたが、その金額については今も同じぐらいなのか？
- 庁舎が建ちあがるのが33年とか言っていて、まだ目途が立っていないという事だが、もし、新庁舎が建つ前に大きな地震が来た時の対策は、どのように考えているのか？
- 福祉面で考えると、庁舎の建設に関して、地域の課題としては、高齢化だとか社会福祉にかかわる民生費が高騰していく事と、歳入に関しても減っているというようないろいろ課題もあると思う。
- 外部から来るお客さんのための庁舎だけでなく、住んでいる私たちが住みやすく、豊かになることが第一であってほしいと思う。
- 津久見は高齢化率が高いと言いながら60歳以上の方々が持っているようなもので、とても元気な方が多い。この方たちの活動をいろいろな教室がある中学校で使えば、とても充実したものが行われると思う。
- 庁舎から金融ゾーンまでは300メートルくらいで、商店街までも同じくらいの距離にあるので、利便性は良くなると思う。
- 個人としてもこの「港湾埋立地」が一番良いと思っている。その中でいろんな事もあるが、防災、集客、活性化など色々な面で、新しい津久見のシンボルになってもらいたい。そのための新しい庁舎ではないかと思っている。今一番問題になっている財源についても、これから皆さん方と話し合いながら良い知恵を出していかないと、良い構想もうまいかない感じがする。

- 場所については、「港湾埋立地」に賛成。どこに庁舎を建ててもそれなりにリスクはあると思う。
- 場所については、最初から217号線を使った「港湾埋立地」が良いと思っている。
- 以前は、南海トラフ、東南海地震の津波の可能性があるので、今の市役所を嵩上げて新庁舎を建てた方が良いと思っていたが、この海岸地帯を津久見市の中心部という風な形で造り上げていくというような事を考えると、ベスト・ベターではなかろうかと思う。その中で、特に津波、ほかの災害に対しての防災対策だけはしっかりと対応して建設していただければ、津久見市も人口は減っているが、この地点を中核として、まだまだ、半島部にも伸ばしていけるまちじゃないかと思う。
- 17,000人の市民の市庁舎として「モデル的なものが見えない」と思っていた。市民は、本当にどんな物ができるのか？いくらぐらいの物ができるのか？いつできるのか？と感じていると思う。今からだとは思うが、先ほど海辺に建てた学校の話があり、そういう具体的な物があれば、市民は納得できると思う。
- 行政の拠点が中心部に移ってくるという事は、とてもありがたいと思う。地域の活性化などについてはベストな場所だと思うが、防災の面と財政面については懸念が残ると考えている。防災については、庁舎が避難ビルという事だが、いざ地震があって、「津波が来る」となった時、果たして海の方に逃げるかなというところが心配。財政面については、市民が納得するものでなければいけないと思うので、十分に協議をして、市民に話せる段階になったら説明をいただきたいと思う。
- 役所主体という考え方ではなくて、道の駅でも何でも良いといえば語弊があるが、経済活性化の施設がここに出来れば、それに役立てるために役所を呼んで、集客交流施設が市民の役にも立つという併設の順序を逆にすることは、考えられないものかと思ってる。
- 庁舎の建設場所については、「便利なところが良い」という事と「人が集まる地域」という事で、「港湾埋立地」が良いと思っていた。個人的には支持をしたいと考えてる。ただ、皆さんが一番心配されている財源の問題が気になる。こういう施設は往々にして当初の予定よりも金額が膨れ上がっていくという事は良くある事で、目論見通りに資金が調達できなかった時に、どうなっていくのかという心配もある。